

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		企画調整事務		課名	企画課	事業No.	27
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画						
	法令・例規等			飯田市庁議規程			
事業目的		対象	市政の課題				
		意図	適正に調整する				

2 事業内容

2年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)				
	市政経営に係る高度で専門的な情報を収集するとともに、関係する機関や幅広い人的なネットワークを構築することにより、変化の激しい時代における市政の課題の調整に取り組みました。			事務消耗品費				399				
				国、県等会議参加旅費				2				
				南信州アルプスフォーラム補助金				270				
				日本経済研究所負担金				120				
その他の経費				13								
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	出張回数		回	24	26	24	29	24	35	24	1	
	政策会議開催		回	24	26	24	26	24	24	24	25	
	部長会議開催		回	15	21	15	21	15	16	15	31	
	主管課長会議開催		回	12	13	12	13	12	11	12	12	
2年度 決算 (千円)	予算額		1,232	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		804									
	財源の 状況	国庫支出金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
一般財源		804										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	10	1	842	414	企画調整費
2	1	2	1	9	10	2	390	390	各種負担金
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		新型コロナウイルス感染症対策を即時的かつ効果的に実施できるよう、臨機応変に部長会議を開催するなどの調整に努めました。新型コロナウイルス感染症対策に限らず、市政全般の課題解決に取り組んでいるものの、幅広い市政の課題に対し、調整すべき課題が多く、多様化・複雑化しています。人的ネットワークの拡大を図り、市政に有用な情報を集め活用していくことが重要と認識しています。							
上記の課題解決のための有効策		各部局との連携を密にし、情報や知見を得るとともに、庁内の連携を強め、横断的な体制で課題解決に取り組むことが必要です。また、関係する団体との積極的な連携・交流を通じて情報を集める必要があります。							
次年度に向けての取り組み		庁議の充実、調整機能を強化し、課職員が担当部局と一丸となり課題の把握に努めます。また、課題に対して各部局との横断的な体制で解決を図れるよう取り組んでいきます。あわせて、視野を広く新たな考え方を持つために、関係する団体との交流や外部への研修機会を積極的に活用していきます。							